

「学ぶ力」の育成のために

1年間のPDCAサイクルを確立しましょう！

今年度も児童生徒の「学ぶ力」の育成に向けた取組を学校全体で推進するために、通信を送付します。

今号では、学力向上担当者及び研究主任の学校内での役割と1年間の見通しを紹介します。

学力向上担当者及び研究主任の役割と連携のイメージ

学力向上担当者

○主な役割

校内において各学級担任や教科担任が行っている学力向上の取組をまとめ、総括的に点検・評価・改善の方針を示す。

研究主任

○主な役割

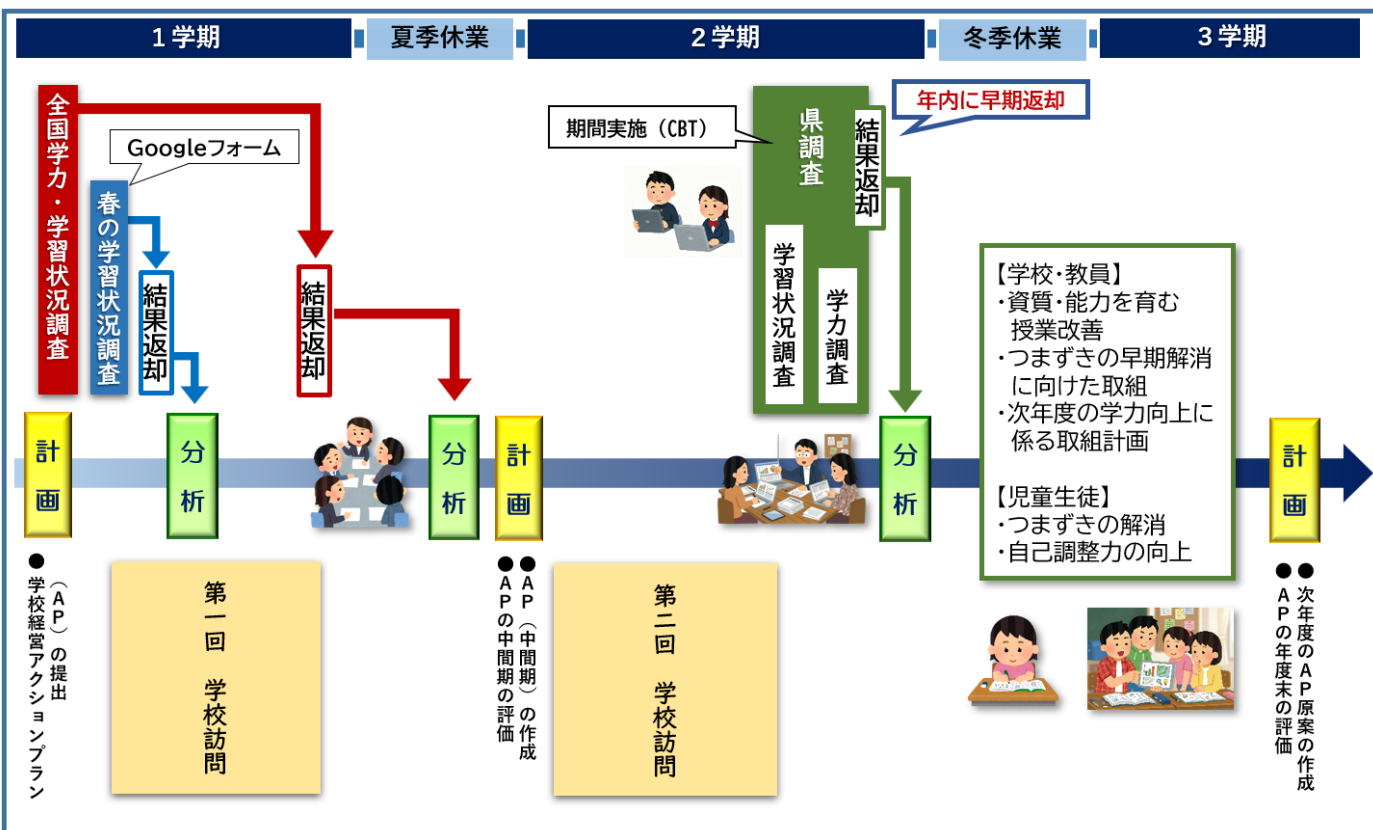
小学校・中学校における校内研修（校内研究）等の企画・推進を通して、教員の授業力向上と学校全体の指導体制を強化する。

学力向上担当者及び研究主任の連携のイメージ

- 各学力・学習状況調査等の結果をもとに、校内で課題を共有し、授業改善の方向性をともに考える。
- 校内研修や授業研究を通して、具体的な実践につなげる。
- 取組の手応えを確かめ、成果や課題を整理し、次の取組へと生かす。

年間の見通しをもち、主体的・組織的な取組にしましょう！

学力向上担当者及び研究主任においては、下図に示す全国及び県の学力・学習状況調査や春の学習状況調査について、年間スケジュールの確認をお願いします。



新県調査により期待される効果

学校・教員においては、資質・能力の育成を意識した授業改善が進むとともに、つまずきの早期解消に向けた取組や、次年度の学力向上に係る計画の充実が期待されます。

また、児童生徒においては、学習上のつまずきの解消が図られるとともに、自己調整力の向上につながることを期待されます。